

魚津市自治振興会連合会第2回定例会 会議録

日 時 令和7年8月27日（水）17時58分～19時25分

場 所 魚津市役所3階第5・6会議室

出席者 自治振興会連合会 野村博会長（経田）、
大野聡一副会長（大町）、亀澤俊幸副会長（村木）、
伊田正一監事（天神）、谷口慧監事（西布施）、
二川正博（上中島）、木下正博（松倉）、馬場均（上野方）、
三谷敏博（本江）、平野泰正（片貝）、長谷川道隆（加積）、
本元義明（道下）、金川陽一（高島勝（下中島）の代理出席）
事務局 地域協働課 戸田課長、石川係長

1 あいさつ

（会長）

- ・先日まで大学女子野球選手権大会が行われていた。応援活動へのご協力に感謝。
- ・少し雨が降ったが、まだまだ暑い日が続いている。各自、熱中症などに十分気をつけていただき、体調管理にご留意いただきたい。

2 各課からの依頼事項について

- ・各課からの依頼事項はなし。
 - ・事務局から報告事項として、未来高校富山野球部の甲子園出場に係る応援メッセージボードの設置の取組みについて資料に基づき説明した。
- 【質問・意見なし】

3 会議録の承認について

- ・令和7年7月2日に開催した第1回定例会の会議録について確認し、承認を得た。

4 協議事項

1) 視察研修について

（事務局から資料1に基づき説明）

- ・日程は「11/19（水）県内日帰り」、視察先は「高岡市福岡地域交流センター（福岡公民館）」とし、行程概要について説明し、異論なく承認された。今後、参加案内等について事務局から各地域振興会長あてに案内することとした。
- 【質問・意見なし】

2) 県知事要望について

（事務局から資料2に基づき説明）

- ・7/2の第1回定例会で提示した内容から、8/8までに追加の意見や修正案についてメール照会していたが、特に意見等はなかった。今回が最終確認の場となり、今後の県知事要望ま

での流れを説明。8/29 開催の新川ブロック会議（2市2町）で、新川ブロックとして要望事項を取りまとめる。

【質問・意見】

- ・富山地方鉄道の存続の話については大きな課題である。報道で令和8年11月末にも（滑川駅－新魚津駅間等の）廃線と聞いたが、何か一文でも盛り込まなくても良いか？
- ・例えば、要望事項「1. 地域交通への支援について」に、「(9) 富山地方鉄道へ継続的運行のための支援」のような文言があったらどうか。県に対して地域（自治振興会）から要望として声を出さないといけないかと。

（事務局）

- ・例年の県自連の県知事要望のスケジュールは12月上旬の予定である。
- ・富山地方鉄道の案件については、魚津市の窓口は都市計画課で日々情報収集にあっているが、県知事要望の12月の時点のタイミングでどのような内容であれば良いか見極めが難しい。
- ・会長への相談となるが、8/29に新川ブロック会を予定しており、黒部市、入善町、朝日町の自治振興会長からも、同様の課題感の意見が出されることが想定される。一旦、今の意見をお預かりして新川ブロック会で協議させていただきたいがいかかが。

（会長）

- ・そのように取り計らうことで皆さまご理解いただきたい。

3) 全国自治会連合会富山県富山大会について

（事務局から資料3に基づき説明）

- ・全国自治会連合会富山県富山大会の概要と、魚津市の参加要請枠について説明した。
- ・大会参加者要請枠は10名で13地区に割当ができないため参加意思の確認を行ったところ、大町、村木、上中島、松倉、本江、片貝、加積、経田、天神、西布施の10地区の会長となった。
- ・なお、事務従事者1名については事務局（地域協働課職員）で対応し、交歓会1名については野村会長が参加されることを確認した。
- ・また、大会参加者の移動については公用車を用意し、まとまって移動することを予定していることを報告した。

【質問・意見なし】

5 その他

1) 地域の担い手となる地域人材確保・発掘について（意見交換）

（事務局）

- ・背景を説明。昨年11月の県外視察先の滋賀県草津市・野洲市において、視察地区の自治振興会で「事務局長級の常勤体制」をとっており、本市としても参考とすべきではないかといった意見があった。しかし、滋賀県草津市等と魚津市では、1地区あたりの人口規模や地域まちづくり活動の背景等が異なっていることもあり、本市13地区の地域振興会事務局長をすぐに常勤化したり、財政

支援したりするのは課題が多いものと考えられ、検討を要する。

- ・一旦、各地域振興会長や事務局長などの要職に当たる役員の担い手確保の方法や育成などの考え方等をヒアリングのうえ、今後のあり方について現状把握に努めたく、各会長から端的にご意見をいただきたい。

(意見①)

- ・事務局長の常勤化は理想であるが、いろいろ課題があるので皆さんと考えていきたい。地域振興会そのものの活動（を回していくこと）が今でも厳しい。担い手となる人も少ない。地域そのものが疲弊している現状にある。
- ・地域振興会長はボランティアで良いと思っている。その下になる副会長や事務局長は、常勤で地区のことをしっかり分かっている人がある程度の金額をもらってやっていける体制が望ましいと思っている。

(意見②)

- ・人口減少で子どもがいない、高齢化も進んでいく。地域情報誌に町内会が解散していく、地縁団体が5年間で130減少しているという記事があった。地域振興会の存在意義を考えていかないといけない。
- ・自分自身も危機感を強く持っているが、その危機感を共有し、地域と共に生きていく覚悟を1人でも多くの方に持ってもらうことが必要で、同志を集めていきたい。
- ・地域の中には若い世代でも（地域まちづくりに）意欲のある方、意識の高い方も少なからずいる。1人でも多くそのような方を取り込みながら、役員が偉いとかではなくフラットな立場で話をしていけるような地域を作っていきたい。現状、女性役員比率は38.6%で全国的にも高い水準。女性の意見もどんどん取り入れながらやっていきたい。

(意見③)

- ・地域の担い手はなかなか見つからない。自ら「やってくれる人」を探さないといけない。自治会も同様で潰れにかかっているところが多く、自治会長と今後の町内会運営をどうしていけばよいかをテーマに話し合っているところ。
- ・将来的には振興会（執行部）の中に自治会を位置づけて、各町内に指示して簡単な業務をやらしてもらおうかと考えている。
- ・現状の振興会の運営は、事務局長が中心になって回してもらっているが、事務局長には手当を出して、1日2時間、月40時間来てもらっている。将来的にも事務局長が一番大事だと思うので事務員と一緒に運営していければよい。

(意見④)

- ・昔は青年団という人の顔が見える繋がりの中で地域が発展してきたが、今はそのような交流がない状況。過去に青年団活動をやっていた方々の残っている繋がりで行っているが、その人達がいなくなったら地域がどうなってしまうのかという所まできている。
- ・事務局にお金を払えば誰かやってくれるのかといっても、やはりほぼボランティアの状態でやっている方がほとんど。人材発掘というが、そのような方が地域にいるのか（いないのではないかな）というのが一番の課題。
- ・地域活動に市職員が関わることは難しいのか。市職員が地域活動に関わることで長い目で見ながら協力していただくというのも一つだと思う。

- ・小さい子供たちの事業をやりながら、地域振興会の事業は楽しいということを見せながら、大人になった時に地域活動を助けようという気持ちになっていくように育てていくしかない。
- ・お金の問題ではない。お金を払えば誰でもやってくれるということではなくて、地域のためという気持ちがある人が一人でも多く集められるようにしないと難しい。

(意見⑤)

- ・理事会のメンバーが 25 名おり大部分が各種団体のあて職だが、うち 4 名を会長推薦枠として別枠に確保するようにした。所属団体がなければ「みらいプロジェクト」という形でこれはという人を理事に充てている。
- ・区長会は 13 地区あるが、任期は 2 年交代、会議に顔を出すようにしており、これはという人がいても区長を辞めたら関わりが終わるので、地域振興会理事の推薦枠として関わりを持ってほしいと思っている。会長の独断で選んではおらず、役員と相談のうえで推薦しており、将来の上中島地域を担っていけるような人を探して人材確保に努めている。

(意見⑥)

- ・区長(会)が強い権限を持っている。区長が大きな責任を持ってもらっている土地柄。自治振興会の副会長に区長会長とセンター長を充てており、会長と 3 人で大きな方針を話し合っただけ動かししている。
- ・小学校校区内の協議会として、課題や問題意識を共有しながら研修等を行っている。早晚必ずと言っていいほど、地域振興会単位の合併をせざるを得ない時期が来るだろう。すでに行っている校下内各地区の地域振興会がタッグを組んで、今のうちからそのような活動や動きを醸成しておく必要があるのではないか。
- ・以前、定例会の中で小学校単位のまとまりが自治振興会連合会の組織という位置づけにはならないという話があったが、地域振興会の下部組織のような形で連合体・連携した研修などを進めればどうかと思っている。
- ・昨年視察の草津市では、地域と行政の間にクッションのような役割(中間支援組織)があったと思うが、今後、指定管理者導入の話があると思うが、勤怠・労務管理など共通した業務を一元的に行うような人などを全体で 1 人か 2 人行う人がいれば良い。

(意見⑦)

- ・地域振興会長を受ける前にこれまで 49 歳から公民館主事を 3 年、52 歳から公民館長を務めてきた。次の世代を担う人として、青年団活動や P T A 活動をやっていた人が良いと思う。これまで「未来プロジェクト」として、地域のあり方、人材発掘、指導などのシステムを作った。表面上機能しているように見えるが、今一つしっくり着ていない感じ。
- ・新たに地区外から来て地区内に住むようになった人の割合も多く、三役会などでどのような地域のあり方が良いか話はするがなかなか前に進んでいない。新たなコミセン整備を一つの起爆剤として、真剣に考えていきたい。

(意見⑧)

- ・地域振興会の事務局長はいるがサラリーマンのため平日は休めず、残業があれば夜の会議も参加しづらい状況。他地区の良い方法があればぜひ参考にしたい。
- ・自治会長は、小さな自治会は人がおらず、繰り返し区長が回ってくる。何か良い方法が

あれば良いが…

(意見⑨)

- ・地域振興会の事務局長は会社員定年後、農業専門に行っているが、地域振興会として非常に助かっている。いないと回っていかない不可欠な存在である。
- ・事務局長が他組織の役員業務が多忙になってくると地域振興会業務が不安になる。
- ・会長も年齢で体が辛く、代わりがいれば交替したい。

(意見⑩)

- ・役員が 30 人おり、三役会で方針を決めて活動を進めている。役員には役職に応じて年間の手当を最低 10,000 円は出している。
- ・現在事務局長 1 名は非常勤の状態。昨年まで非常勤の事務局次長の 3 名いたが、今年度から事務局（事務員）から常勤の事務局次長として 1 名の体制とした。

(意見⑪)

- ・地域の環境保健衛生推進協議会の会長が選定できなくなって困っていた。区長会の中から選んでお願いできないかと区長会の副会長を保健協の会長になってもらった。
- ・自治会は 21 あるが、自治会がまとまった大きな活動はないが、地域の土台となって支えているキーとなる組織。地区社協や体育振興会などの役割を自治会から選出して担ってもらっている。自治会が崩壊すると各種団体の活動も立ち行かなくなる。
- ・地域振興会には 8 つの部会があり、各部会長を中心に動いて活動を支えているが、その中から協力者や今後支えていってくれる協力者を探していくしかない。
- ・地域の担い手には育成会（PTA）会長などに目をつけている。事務局を担う専任者もなかなか難しい部分があるが、地域の中の市役所や県庁OBで誰かいればと狙っている。

(意見⑫)

- ・指定管理者となってから多くの事業を行っている。宿泊事業をメインに忙しい状態だが、地域振興事務員に多くの業務を担ってもらっており負担になっていると思う。
- ・事務局長級の方が常勤にいて、事業を回してくれれば事務員の負担も軽減されると思うが、指定管理になれば人件費も目に見えてくるので、そう簡単には常勤として配置するのが難しいと思っている。
- ・地域の方には多くの協力をいただいている。会社員が多く、定年延長で 60 歳を超えても働いているため事務局長の役割も簡単にはいかない。市が旗を振っていただいて魅力のある（事務局長級の）常勤の事例を作ってもらえればと思う。

(意見⑬)

- ・地域振興会のもともと母体は団体連絡協議会。婦人会の解散や老人会の減少などで担い手も先細り、裾野を広げないと今後やっていけない。新たに女性委員会を発足させて振興会事業に協力いただきながら、企画・計画から携わってもらい、興味関心を持ってもらおうとしている。
- ・検討段階だが、振興会事業に関心興味がある方々をボランティアサポート役として募集しようと考えている。応募があるかなかなか期待はできないかもしれないが、各地区から 1～2 名程度、各町内会から（半）強制的に関わってもらえる方を出してもらおうと考えている。

- ・コミュニティセンターの指定管理の話もあるが、給与計算や社会保険など事務的な共通な業務があると思うが、市でなくても良いがどこか一括して専任の方が担うことが効率的に行えないか。事務員の負担軽減にも繋がる。
- ・事務局の充実については、従来事務局長1人だったが、補佐として一世代若い50～60歳代の方から事務局次長5名を選任した。常勤ではないが、企画運営に関わってもらい知恵を出し合っていきたいと思っている。

(会長)

- ・各地区いずれもご苦労している状況であると感じた。担い手確保として何かしなければという想いは共通していると思う。今後もそれぞれの地区の意見を共有しながら、話を重ねていく必要があると思う。今回、意見交換という形で行ったが、何度かこのような場を設けて少しずつアイディアを出して形にしていけたらと思う。
- ・本日何かまとめるわけではないが、事務局とも相談しながら皆さま方の意見を伺っていききたい。

2) 令和6年度分のまちづくり交付金の監査等の実施について

- ・事務局から別添資料により、実施概要について、9/2～10/16までに市内13地区に訪問する予定を説明。

【質問・意見なし】

3) 市長のタウンミーティングの開催について

- ・事務局から別添資料により、担当課の情報広報課で一部割振りの変更があった旨を説明。10/9(木)、10/10(金)、10/20(月)、10/21(火)の4日間、4会場で開催予定。
- ・なお、各地区からの意見や提案について、未提出の地区においては9/5まで提出いただくよう改めてお願いした。

【質問・意見なし】

4) 今後の主な日程

- ・次第に記載のとおり説明。10/5(日)の各地区運動会には、3役が激励訪問できるよう調整予定であることを報告。
- ・第4回役員会：9月下旬、第3回定例会：10月中旬で調整できるよう改めて案内することを報告。

【質問・意見なし】

5 閉会

閉会にあたり、会長が挨拶をされて終了した。(19:25)